

東新町・小茂根地域における取組について

板橋区 都市整備部 都市計画課

1 地域と考えるこれからの交通～バス路線の未来と新たな交通の検討～

令和5年度

第3回（R6.2.5）

- ・アンケート結果と地域特性を踏まえた詳細な分析
- ・候補地域、導入サービスの検討整理

- ・ 検討対象地域の選定 → 候補地域から、アンケート結果や立地条件を踏まえ、地域を選定
- ・ 導入サービス候補の整理 → 考えられるサービスの比較検討

令和6年度

第1回公共交通会議（R6.6.25）

- ・ アンケートの実施、分析
- ・ 地域特性、対応策の整理、検討
- ・ 導入サービス候補の抽出

選定した東新町・小茂根地域において、移動に関する課題や意向を詳細に調査するとともに、**地域住民との検討を実施した。**

第2回公共交通会議（R7.2.3）

東新町・小茂根地域における、地域住民との検討の結果、アンケートの結果を報告、今後の取組の提示。

令和7年度

第1回公共交通会議（R7.5.26） **今回**

選定した東新町・小茂根地域において、国際興業バス「池55系統」（小茂根五丁目～池袋駅東口）の路線維持と空白時間帯における新たに導入可能な交通について、**地域との検討を実施予定。**

2 令和7年度の取組スケジュール（案）

項目	令和 7 年												令和 8 年																							
	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
公共交通会議				5/26(月) ● 地域交通検討会実施予定の報告											9月/下旬 第2回会議 ○													2月/下旬 第3回会議 実施状況の報告 ○								
地域交通検討会				第1回○ 5/29(木)												第2回○ 予定												第3回○ 予定								
検討会ニュース配布							配布 →												配布 →									配布 →								

地域交通検討会

第1回 5/29(木)

国際興業バス『池55系統』（小茂根五丁目～池袋駅東口）バス減便後の実態と「ちょっと不便」の乗りこなし術

- (1) 減便後の影響
- (2) 住民の移動実態
- ・どの時間が不便、この曜日のこの時間帯のバスは大切など
- (3) バス、鉄道の乗りこなしの工夫
- ・ダイヤの特徴を踏まえて
- (4) この地域で使いやすい乗り物とは
- (5) 町会での情報共有の必要性
- (6) 意見交換（フリーディスカッション）

第2回 10月頃

バスと新たな乗物の共存を考える

- (1) シルバーバスの活用
- (2) 新たな乗物の必要性はあるのか
- ・ほんとうの使いやすさとは
- ・それはどんな乗り物なのか
- ・新しい乗り物がバス路線廃止につながるリスクについて整理
- (3) 意見交換（フリーディスカッション）

第3回 2月頃

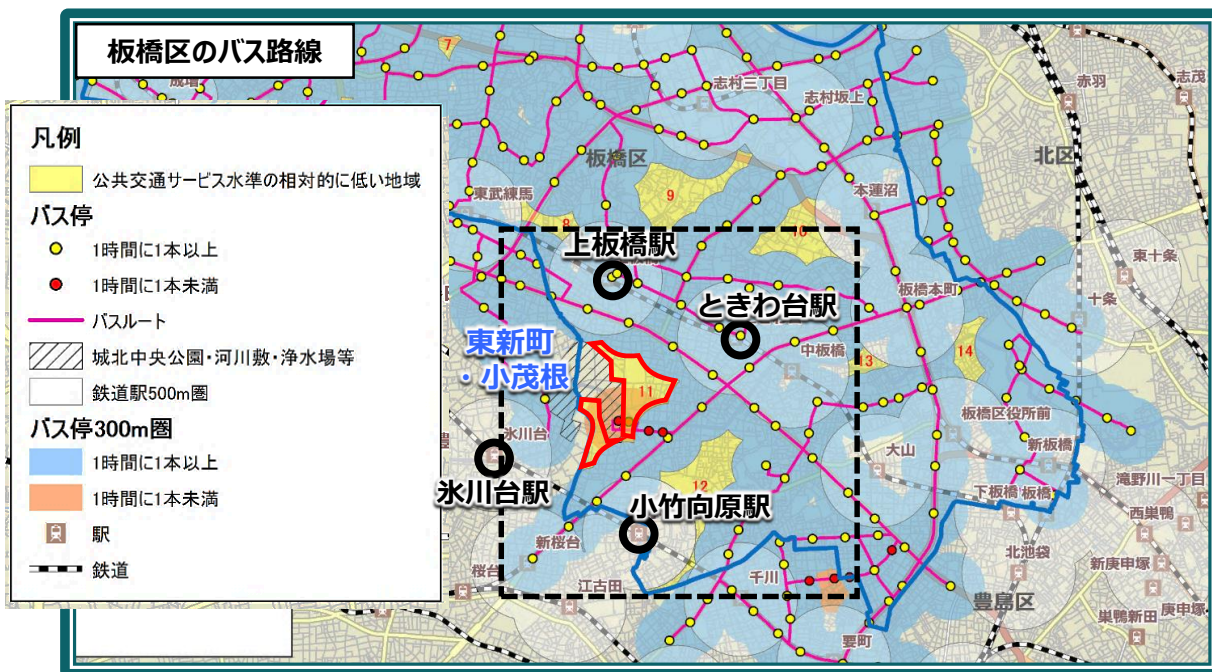
議論の整理と町会の行動計画

- (1) 議論の振り返りと町会の公共交通利用促進
- ・月に一回のバスに乗っておでかけプラン
- (2) バス運行空白時間に自主運行の可能性
- ・月に一回自家用車でおでかけプラン
- (3) 国際興業バス『池55系統』（小茂根五丁目～池袋駅東口）の維持について
- (4) 意見交換（フリーディスカッション）

3 東新町・小茂根地域の現状

● 鉄道駅までは10分～15分の距離

- ・東新町・小茂根地域は「駅から500m以上」「バス停から300m以上」離れたエリアがある。
(相対的に公共交通サービス水準の低い地域)
- ・駅からの距離は700m～1000m程度の距離、所要時間は徒歩では10分～15分
- ・城北中央公園など運動施設があり、比較的健康な高齢者も多い。
- ・現時点で重大な交通孤立はないが、将来不安がある。



4 令和7年度の取組

(1) 国際興業バス『池55系統』（小茂根五丁目～池袋駅東口）の路線維持

- ・ 減便の影響、バス乗りこなしの工夫（二次元コードの利用）
- ・ 地域でできることの検討、取組の設定（利用促進活動）
- ・ 広報、PR資料等の作成、地域への呼びかけ
- ・ シルバーバスの上手な使い方（バス、鉄道の乗りこなし、ダイヤの特徴）

(2) 東新町・小茂根地区の「新たな交通手段」の検討

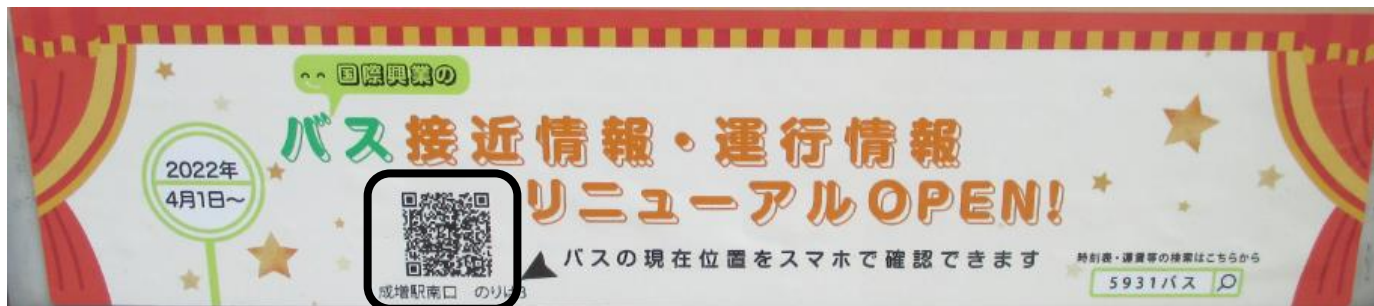
- ・ 新たな乗物の必要性はあるのか
- ・ バスの補完が必要な時間帯の確認
- ・ 目的地の検討（小竹向原駅方面、ときわ台駅方面等）
- ・ この地域で本当に使いやすい乗り物とはなにか
- ・ 実証運行の検証（利用状況、運行状況、地域の状況変化等）
- ・ この地域における高頻度運行とは週に何本くらいなのか

5 まず取り組みたいこと：公共交通の利用促進（バスを上手に使うコツ）

● ちょっと不便でも使いこなすコツ

- ・バス時刻がすぐにわかる二次元コード集の作成と配布。
- ・シルバーパスを使って、あなたならどこへ行きたい？。
- ・「行ってみたい場所」「行きたい理由」などを教えてください。

（例） 巣鴨とげぬき地蔵、花の名所巡り、サンシャインシティ等。



小茂根バス停



小茂根五丁目バス停

- 二次元コードを読み込んでみる
- ・バス時刻がすぐにわかります。

6 この地域にあう、新しい乗り物とは

- この地域のニーズにあう乗物をみんなで考える。
- ・既存のバス路線を活かしつつ、「空白時間帯」と「空白地域」をどう補うか。
- ・国際興業バスの路線に影響を与えないことも大切。（バス会社との調整）。
- ・AIデマンド交通、自家用有償サービス、タクシー連携など、幅広く学んで検討。
- ・足りないところを、みんなで埋めるアイデアを提案する。

●東新町・小茂根地域の具体的な移動手段の選択肢 (令和6年度 アンケート結果より)

種類	A.乗合交通 (ワゴン車を活用)	B.タクシーの相乗り (通常のタクシーを 活用)	C.助け合い交通 (自家用車を活用)
イメージ			
積極的な利用意向 (アンケート結果)	約11%	約5%	約9%

7 自転車も移動手段のひとつ。

駅やバス停までの「接続」として考えてみませんか

- 公共交通の補完として、移動の選択肢を広げてみる。
- ・バス停や駅に行く手段として、「あと少し」を補う手段として使ってみる。
- ・この地域内のシェアサイクルポート（貸出、返却場所）はHELLO CYCLINGとLUUPがあります。
- ・駅前や幹線道路沿いだけでなく、住宅地にも点在しています。
- ・どのような場面で使えそうか？ 使うにはどんな配慮が必要になるでしょうか？

●サイクルポートの例



●デジタルの活用に挑戦してみましょう。

・スマホで登録してみよう。キャッシュカードがなくてもPayPayが使える。



桜川地域包括支援センター



桜川地域センター前